

# 島を美しくつくる会

調査団体名	: 島を美しくつくる会	団体代表者名	: 鈴木喜代司(会長)
設立年	: 1996年	対応してくれた人の名前	: 鈴木会長、筒井副会長、杉山振興室主査
団体URL	: <a href="http://www.sakushima.com/island/tsukurukai/index.php">http://www.sakushima.com/island/tsukurukai/index.php</a>		
活動拠点	: 西尾市 佐久島	調査員	: 井上祥一郎、浅田益章
取材日	: 2015年12月 1-2日	レポート作成者	: 井上祥一郎(推敲)、浅田益章(作成)

## 活動内容

「佐久島は何もないところ」。島の人はこう思っていたそう。島の豊かな自然や景観はあたりまえのこととして気付いていなかった。島を訪れた人によって島の魅力を知られることとなった。ならば、もっと美しい島をつつきたい。ありのまま美しくあれ。お話をいただいたみなさんからそういう思いが伝わってきた。それが実践されている島である。島を美しくつくる会とは島民および島を愛する人々の自主活動である。島民全員が会員である。4つの分科会がある。「ひと里分科会」、「漁師分科会」、「美食分科会」、「いにしえ分科会」。そのほかにさまざまな活動がある。

## キャッチフレーズ

なんにもない島。自然のままとアートに癒される美しい島。

## 会のモットー(何を大切にしているか)

近代化の波にもまれることなくスローライフができるアートと自然があること。

## 設立から現在に至るまで変化したこと

設立2年後(1996年設立)、アートで島づくりに挑戦していた時。島民になじみのない現代アートを若者にまかせよう！島民漁師には思いつかない発想であった。島外の人の参加や佐久島を応援する人が多くなって今や全国的に訪れたいという人気の島である。

島めぐりをゆっくりとできる佐久島アートピクニック(島中に22カ所に作品)など、落ち着いた癒しの島である。

## 連携している団体・専門家・自治体など

- ①西尾市役所には「佐久島振興課」がある。佐久島についての広報担当窓口となっている。(今回の取材窓口)
- ②島民全員が会員(250名)であり、島外の応援ボランティアの方も多い。特定の企業や組織とのつながりよりも多様な個人、その道の専門家のつながりや連携が感じられる。マスコミの取材、新聞掲載多い。

## 山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

4つの分科会で多くの活動がされている。今回わずかな時間で現地現物を見て印象的だったことを紹介する。

- ①島外の訪問客がくつろいで佐久島の歴史を知ることができる弁天サロン(西港)。島民の集会の場でもある。
- ②小学生などが花植えをして育てている島の花壇は美しい活動である。未来につながる。
- ③佐久島の弁天様(島の中央の筒島にある)願掛けの「願い石」島の有志がここまで立派に整備したことに感銘。佐久島はいにしえからの古墳があり先進のアート造形まである。島全体がパワースポットといえる。

## 現在直面している課題

- ①漁業後継者問題: 島民漁師の高齢化や漁業経営の不安定性から新規漁業就業者の定住促進の環境整備が必要。
- ②伊勢三河湾の漁場環境の悪化、漁業資源の減少。基本となる漁業あつての佐久島である。豊かな海の幸を守ることが美しい島づくりに欠かせない。

## 今後やってみたいこと

- ①本当に島にきたい人が作る佐久島にしたい。  
大手資本による島の観光化でなく、自然と人工のアートが調和して美しい島としたい。  
今やっていることを地道に積み重ねることが島民のため、佐久島にきたい人のためになる。
- ②島への来訪者を平準化できればいい。土日曜日が多く、平日は少ない。4月—11月は多く、12月—3月は少ない。

## そのためにはどんな情報・人脈が必要か

- ①行政と仲良くやっているところは少ない。西尾市と佐久島は町村合併以降役割分担を決めて、いい仕事と関係作りができている。今後も西尾市役所を窓口として佐久島の振興を図ってゆきたい。  
マスコミ情報発信、広報など西尾市役所振興課を設けてやっていただいている。
- ②佐久島にある美しい景色、アート、海の幸など。佐久島を訪れるリピーターの方々。平日やシーズンオフの時期に来て喜ばれるような「美しい島づくり」の島民の活動、島外の応援者を増やしてゆきたい。

## チームオリジナルの質問

### <質問内容>

島内でよく猫を見かけますが多いいですか？

### <答え>

黒猫、ぶち、茶色の猫が多い。ひなたぼっこしている猫。猫は自給自足している。

漁港には猫が多いそうです。猫の写真で有名な動物写真家の岩合光昭さんが佐久島に8月に来て、猫を撮影して名古屋で写真展を行いました。佐久島の猫はアートです。

## チームオリジナルの質問

### <質問内容>

昨年は佐久島の「Oyaoya cafeもんぺまるけ」取材し、事例集に載せました。私もお邪魔しましたがいいお店ですね？

### <答え>

もんぺまるけの神谷さんも「美しい島をつくる会」の会員、リーダーです。島外からの定住者ですがいろいろと工夫して島のお店の魅力づくりをしている。佐久島を見つけて移住を決めた。やりたいことを自由にできる生き方。

## 取材者からのひとこと

取材の日は、一色港から渡船で佐久島西港に着いた。井上さんと二人で歩いて近くにある弁天サロンでお話を聞きました。そこに、関東方面から見えたという女性の方が見えました。一緒に話を聞きたいようでしたが遠慮して出かけたようでした。

取材と島内案内を終えて宿のさざ波さんへ落ち着いたら、その女性が宿泊してた。三日ほど島に居てあちこち歩き訪ねるとのこと。この島には、そんな多くのポイントがあるのかと驚いた。一つひとつの箇所が味わいあるのだろう。癒しの島であることを実感した。

所詮、一泊の取材では十分に「美しい島をつくる会」を知り得ない。島の魅力でもある。私も来ようと思った。これからのんびりと何回も。平日やシーズンオフの時期にも来たい。なごや大府から本当に近い所である。

幸いに私の友人が黒壁集落を越えた石垣古墳近くの森の中に一人暮らしの別荘を建てて定年後の生活を楽しんでいる。気の合った友人と「何にもない島」で話し明かすのも楽しみです。

佐久島は矢作川流域圏の海の天国。ここから矢作川源流の根羽村のことや矢作川流域圏の人たちのなりわいや伝統文化のことを思い浮かべました。伊勢三河湾流域圏に住む幸せを感じた佐久島でした。



① 西港 弁天サロンでお話を聞きました。



② 佐久島アートピクニック。癒しの島めぐり



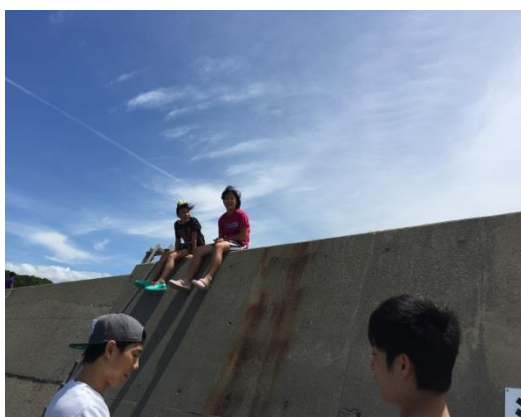
③ 願い石奉納の弁財天(筒島を訪ねる)



④ 願い石に思いを込めて。また来たい。



⑤ 佐久島には猫が多い。宿泊宿のポスター



⑥ 佐久島の子供達。島が大好きと笑う。



⑦ 石垣古墳。いにしへの歴史ある島。



⑧ もんぺまるけ。島を美しくつくる会の会員。

(写真注:①-⑤は2015年12月1日撮影。⑥-⑧は2015年6月27日撮影しました。(浅田)